

令和2年度 富良野市こども通園センター 事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果

職員総数 7名

※評価点算出方法→はい(3点)、どちらともいえない(2点)、いいえ(1点)とし総計を出し職員数の7で割った点数

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2.3	パーテーション利用や受入れの工夫等をおこないながら適切な空間を確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	1.7	利用児童数に合わせた職員配置に継続して対応していきたいと思ひます。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2.4	ワンフロアではないため完全なバリアフリーは難しいです。視覚的情報を示すことで情報伝達を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2.4	エアコンの設置は難しいですが、状況に応じて修繕等をおこないながら良い環境を取り入れていきたいと思ひます。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	2.9	引き続き、月2~3回の会議の中で取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2.9	令和元年の保護者様の自己評価より改善に努めてきました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2.6	ホームページで公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	今後必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2.3	・体制を整え積極的に参加が出来るようにしていきたいと思ひます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	6か月に1回行なわれる面談で成果と課題を確認しあい、保護者のニーズを把握しながら計画書に反映させています。
	11	子どもの発達状況を理解するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2.7	お子さんの状況に合わせて計画的にアセスメントツールを利用し、療育に活かしていきます。
	12	児童発達支援計画には子どもの支援に必要な項目や、具体的な支援内容が設定されているか	3	計画書は具体的な目標設定を行い、保護者に分かりやすい言葉、様式等の改善をしてみました。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	支援計画に沿った支援を行っています。お子さんの状況に合わせ、修正をすることもあります。
	14	集団指導を行う場合、活動プログラムの立案をチームで行っているか	2.9	事前にグループ会議を行い、活動プログラムの立案と反省を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	定期的に専門支援を受けたり、研修会等に参加することでプログラムが固定化しないよう努めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	保護者に必要性を理解してもらいながらお子さんの状況に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2.7	時間の確保が難しいですが、事前の打ち合わせや、反省等はなるべく行うように職員間で意識しています。また次回の療育に活かせるよう心がけています。
	18	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2.7	

令和2年度 富良野市こども通園センター 事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果

職員総数 7名

※評価点算出方法→はい(3点)、どちらともいえない(2点)、いいえ(1点)とし総計を出し職員数の7で割った点数

		チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	療育終了後は必ず記録をとっています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	6か月に1回、保護者・相談支援員とモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2.7	お子さんに直接かかわっている担当者が会議に参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2.7	子育て支援、保育所との関係者と連携を図りながら「あそびの教室」を行い、就園前の親子に支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2.9	幼稚園・保育所等への移行支援として情報共有を行っています。小学校への移行支援として就学に向けての引継ぎを行っていますが、就学後の連携は難しいです。巡回相談として学校に訪問をしたケースもありました。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2.7	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2.7	今年度はコロナの影響で集まることが難しくなりましたが、毎年、上川管内の通園センター職員との研修会が年に2回行われ、情報交換や研修会に参加しています。
	28	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2.6	自立支援協議会の部員として参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	日々の療育の中でも発達の状況や課題について話をするように心がけています。6か月ごとのモニタリングを行い、保護者と発達の状況や課題に共通理解を持つことに努めています。
	30	保護者に対して家族支援、兄弟支援を行っているか	2.7	保護者から相談があった時には対応させていただいています。
保護者への説明責任	31	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	契約時には説明をさせていただいています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2.9	計画書の作成・見直しの時に保護者に計画書の説明を行い、同意をいただいています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	保護者の悩みや思いに寄り添いながら解決の方法を一緒に考えさせていただいています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1.4	今年度はコロナの影響で一度も開催はしていませんが、今後も茶話会として保護者間の交流を行っていきます。(個別療育の保護者も対象に)

令和2年度 富良野市こども通園センター 事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果

職員総数 7名

※評価点算出方法→はい(3点)、どちらともいえない(2点)、いいえ(1点)とし総計を出し職員数の7で割った点数

	チェック項目	評価点(3点満点)	工夫している点、課題や改善すべき点など
等	35 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2.9	相談や申し入れがあった時は迅速に対応できるように努めてまいります。
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	なかよしだよりを月1回発行しています。
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	個人情報情報は外部に漏れることがないように注意をしています。関係機関に情報をお伝えするときは必ず保護者からの了解を得て行っています。
	38 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	丁寧な説明と視覚的な手掛りや環境を整える等配慮しています。
	39 事業所の行事に地域住民も対象とする等地域に開かれた事業運営を図っているか	1.7	事業所の行事に地域住民が参加できる行事は行えていませんが、地元の実習生の受入れは行っています。
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2.7	マニュアルの再度の確認と周知を行っていきます。防犯訓練は昨年度の実施内容の反省を踏まえて実施しました。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	定期的に火災訓練(水害訓練含む)を行っています。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	2.9	契約時にお渡しする児童票で確認をさせていただいています。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1.9	現在は保護者からの申し出で対応していますが、今後は指示書に基づく対応も検討していきます。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1.6	作成をして事業所内で共有していきます。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2.6	今後も虐待防止等の研修会への参加していきます。